



国際連携

地域社会と世界をつなぐ、人・文化・産業の橋渡し



地域の国際化拠点形成に向けて 国際連携推進機構を主体とした国際交流活動の展開

OUTPUT
国際交流・国際教育の
拠点の構築

■ 本学における国際交流の要 —国際連携推進機構—

国際連携推進機構は、2017年10月に設置された全学組織で、「静岡大学における国際連携に関わる戦略を全学的な観点から検討し、本学の理念及び基本方針に沿った総合的かつ効果的な国際連携の一層の推進を図ること」を活動目的としています。本学は、第4期中期目標・計画【国際化】において、「異なる価値観に触れ、国際感覚を持った人材を養成する」ことを掲げました。これに基づき、各学部と連携して右記の3つの計画実施を進めます。

国際連携推進機構が進める国際化の計画

- 学生の海外派遣の拡大
- 優秀な留学生の獲得と卒業・修了後のネットワーク化
- 海外の大学と連携した国際的な教育プログラムの提供

■ 国際連携推進機構が展開する活動紹介

国際連携推進機構が行う、「アジアブリッジプログラム (ABP)」は、本学の特徴的な留学生受け入れプログラムです。5か国の留学生を対象とする学士課程 (10月入学) と、16 の国・地域の留学生対象の学士課程 (4月入学: ABP4月特別教育プログラム) と修士課程 (10月入学) があり、国際展開する静岡県の企業並びに自治体との連携の下、静岡とアジアの架け橋として活躍する人材を育成し、現在卒業生たちが国内外で活躍しています。また、海外協定校と連携

した国際的な教育プログラムとして、短期留学生受入プログラムを実施しています。2024年度のサマープログラム「富士山に行こう! : 静岡が世界に誇る自然・芸術・産業」には、朝鮮大学校 (韓国)、ハノイ国家大学外国語大学 (ベトナム) の留学生と、本学の学生 (日本人、留学生) が参加し、国際的なチームによる協働 (フィールドワーク、インタビュー、発表資料作成、プレゼンテーション) を実践しました。

国際的な視野を育み、社会の諸課題に取り組む人材を育成 海外研修を始めとする各種プログラムの展開

OUTPUT
地域・グローバル人材の
育成

■ 海外研修プログラム

2024年2~3月、グローバル共創科学部では、初めての「海外研修プログラムI」(学部専門科目) を開講しました。約3~4週間の海外研修に参加するもので、実践型・体験型の学びを大切にする、グローバル共創科学部 (2023年4月設立) の特長な教育の1つと言えます。このプログラムは、国際連携推進機構が持つ世界中の協定校や海外とのネットワークを活かして、全学生に提供する海外留学プログラムを活用した取り組みです。夏季と春季の短期留学プログラムを用いて、夏はアメリカ、カナダ、マレーシア、オーストラリア、フランス、春はイギリス、オーストラリア、フランスの大学などで、語学研修+異文化体験を行い、語学力、コミュニケーション力、異文化理解力、国際感覚を身につけます。(*オーストラリア研修はグローバル共創科学部が実施します) 現地で開催されるアクティビティにも参加し、現地学生や地元の人との交流も深めつつ学ぶ有意義なプログラムです。2024年2月、オーストラリアのウーロンゴン大学附属語学学校への留学プログラムでは、学生たちは、ホームステイし家族の一員として、現地の生活・文化を体感しながら、

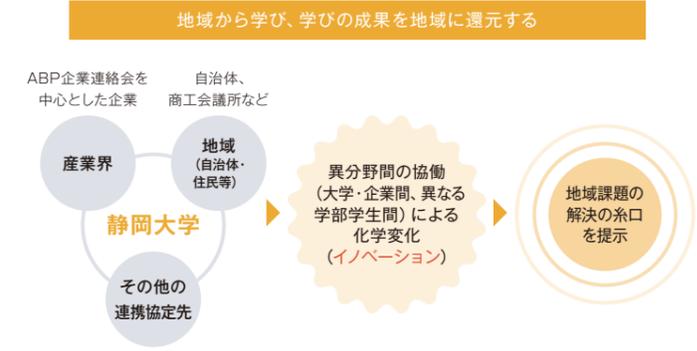
学校で発音の授業やプレゼンテーションを行う実践的な英語の授業を受けたり、コアラなど現地特有の動物がいる野生動物園の散策なども行いました。参加学生からは、「英語でのコミュニケーションに自信が持てるようになった」や「多様な人たちと出会い、視野が広がった」といった声が聞かれるなど、充実したプログラムとなりました。



2024年春季のオーストラリア研修

■ 地域イノベーション創出プログラム

2024年度、JASSO (日本学生支援機構) の海外留学支援制度の奨学金採択を受けて、「地域イノベーション創出プログラム」を立ち上げました。このプログラムは、2024年度「事前・事後研修の好事例」としてJASSOに選定され、留学前の事前研修・留学中の実践活動・留学後の事後研修で構成されます。事前研修は、連携企業・地域から実務家を招いて、イノベーションについての実践例や地域課題の解説を行い、学生のグループワークに伴走して、地域課題の理解・意識を醸成します。留学期間中は、JASSO奨学金または本学の未来創成基金を支給*し、勉学と併せて、実践活動 (ボランティア、聞き取り調査、インターンシップなど) を積極的に行います。(*支給には、上限人数・要件あり) 帰国後は、各自が留学で得た気づきをもとに、グループで地域課題の解決策を考え、企業、地域の方々の参加のもとで発表会を行います。このプログラムを通して、イノベーションの理解、課題をグループでまとめ上げるスキル、学んだ知識を社会に還元する意識など、社会で即戦力となる素養を身につけるとともに、発表会で得られた意見や質問を自己の糧として、各自がさらなる目標を設定するプロセスを修得します。



事前研修での学生たちのグループワークの様子

国際連携推進機構

